

| 今月の不動産経済 (平成29年10月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	50.9 p	1.0 p ↑
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	33 件	22.2 % ↑
負債総額 ^{*1}	8,499 百万円	52.6 % ↑

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	83,057 戸	△ 4.8 % ↓
持家	24,807 戸	△ 4.8 % ↓
貸家	38,017 戸	△ 4.8 % ↓
分譲	19,588 戸	△ 4.8 % ↓
内マンション	7,489 戸	△ 16.9 % ↓

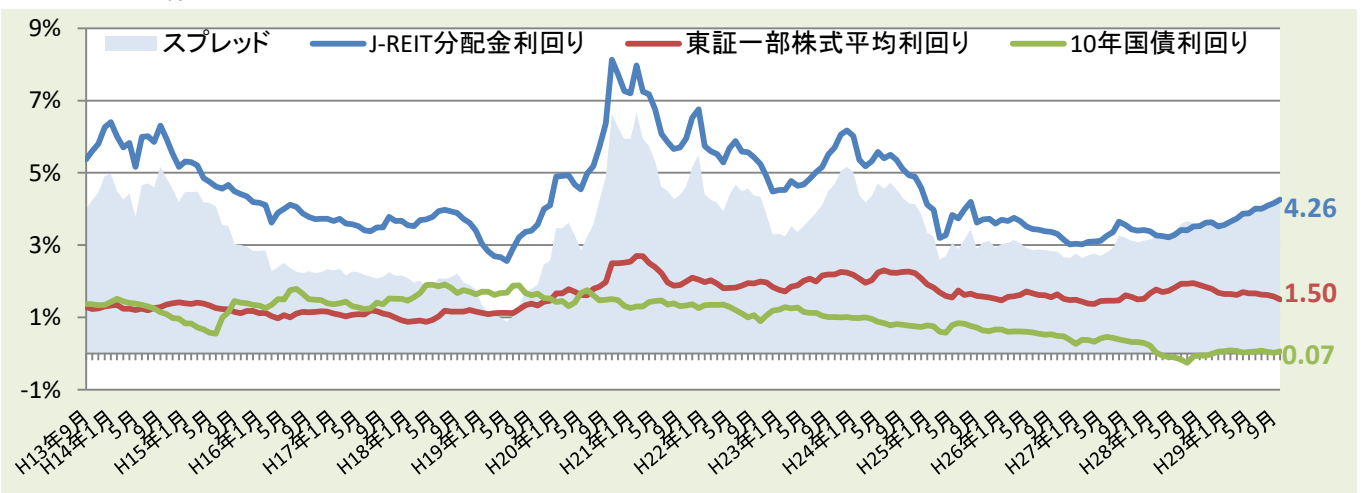
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	2,817 戸	△ 3.0 % ↓
[契約率]	[60.7%]	△ 0.9 p ↓
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,465 戸	16.0 % ↑
[契約率]	[74.2%]	2.4 p ↑
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	3,122 戸	△ 6.9 % ↓
平均価格	3,209 万円	2.3 % ↑
[㎡単価]	[50.2万円]	3.3 % ↑
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,517 戸	0.5 % ↑
平均価格	2,141 万円	4.0 % ↑
[㎡単価]	[31.2万円]	4.0 % ↑
居住用賃貸物件成約数 (首都圏) ^{*5}	17,728 件	0.6 % ↑

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	19,033 円	3.2 % ↑
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	3.02 %	△ 0.15 p ↓

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月比 1.0P改善し 50.9pとなった。景気判断の分かれ目の50を5カ月ぶりに上回った。

新設住宅着工数は、4ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 3.0%減。2ヶ月連続で前年同月比減。契約率は、同 0.9pダウンの 60.7%。

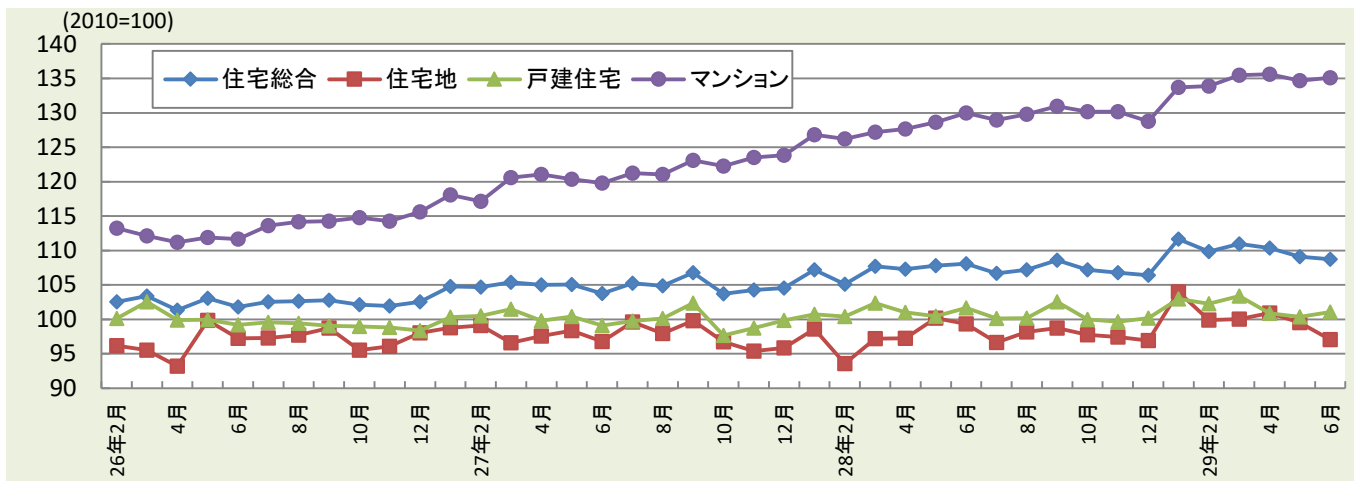
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 16.0%増。2ヶ月連続で前年同月比増。契約率は、同 2.4pアップの 74.2%。

首都圏の中古マンション成約件数は 2ヶ月ぶりに前年同月比減。

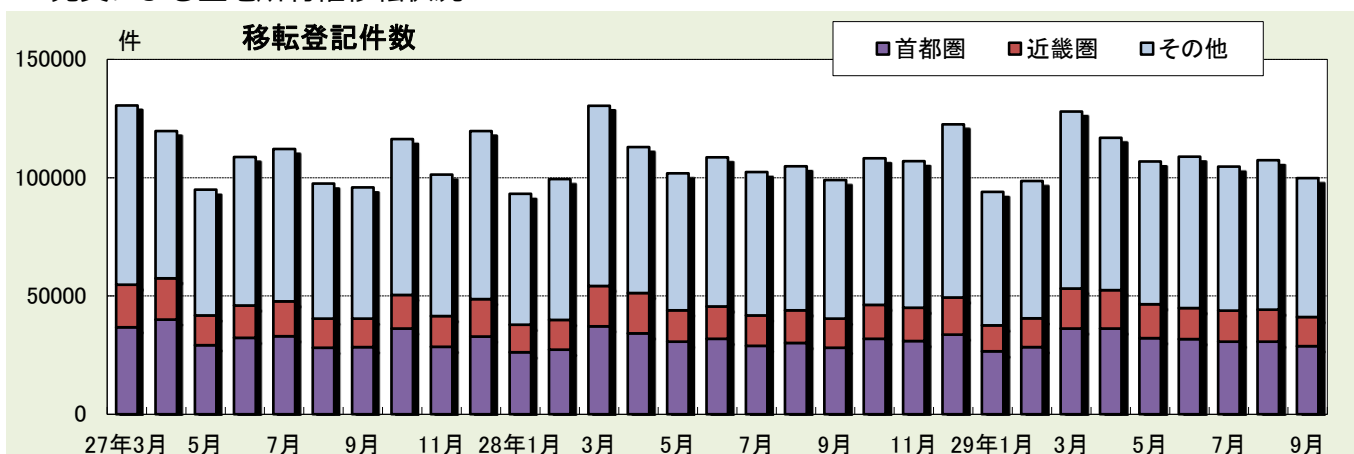
近畿圏は2ヶ月連続で前年同月比増。

都心5区のオフィス空室率は、2ヶ月連続で前月比低下。

● 不動産価格指数（中古住宅）^{*2}



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク（DIは0～100、50が判断の分かれ目）

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省（スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り）

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)